



第三十一号 平成十八年十一月七日(火) 発行

# ふれあいウオーク

今年で八回目をむかえた「ふれあいウオーク祭り」。絶好の秋晴れの中、十月十五日の日曜日に開催されました。

学校で、ふれあいウオークの地図を配ったとき、子どもから、「ウオーク祭りだ」と声がとびかい、とても楽しみにしている様子が感じられました。

そしてむかえた当日。朝早くから、田畑の間の小道を、

家々の建ち並ぶ中を、家族や友達と一緒に、連れ立って歩

く人たちで学区は賑わいました。すれ違うたびに、「おはようございます」「こんにちは」と交し合うあいさつが聞こえてきます。まさにふれ合いウオークの名がぴった

りです。ポイント恒例の十ヶ所。「法性寺」「犬頭神社」「妙圀寺」「大久保東海」「御鋏神社」「大聖寺」「浄妙寺」「松林寺」

「市民ホーム」「六ツ美西部小学校」です。

キャンディーやお手玉をもらったり、ダーツを楽しんだり、今年もポイントで準備された出し物を、思い思いに楽しむ姿が見られました。松林寺では長い風船が配られ、その風船から犬などの動物を作って楽しむ子どもたちもいました。

今年は、各ポイントに赤い羽根の募金箱も置かれ、たくさんの人に善意の気持ちをいただくことができました。集計をすると、一万円以上もお金が集まりました。そのお金は、岡崎市の福祉協会に送り、これから福祉のために使われます。

さわやかな秋の一日、市民ホームの前に建てられた本

多作左衛門重次の石碑も、ポイントを回る人たちを温かく見守っているかのようでした。

